

であいの里広報

2015/1/15 No.60
出合校区協議会
(電話) 667-8020
(Fax) 667-8022
<http://www.deaikyo.com/>



あけましておめでとうございます



未来につながる

「であいの里」

支え合う地域力で元氣、
活力を持続しよう！

出合校区民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

平素から出合校区協議会の活動及び運営について、深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年、内外共に災害の多発、政治、経済が激動する社会でありました。特に人口の都市集中、非正規雇用の増加、地方の産業の衰退、人口減少など格差が広がり社会問題としてクローズアップされました。
本年は、地方にもこの様な重要課題が一步、一步確実に改善

されることを切望するものです。

さて、出合校区協議会は設立以来五周年を迎え、ふるさと出合校区の自立に向けた取り組みが会員皆様のご尽力で若芽をだしつつあります。

コミュニケーション・交流活動では、ふれあい市場、ふれあいまつり、ひなまつり、各部のイベント行事に校区民や地域内外の参加者が年々増加しています。

地域の特産物を生かした6次産業化では、漬物、餅製品、さんしょ大福の菓子製造など、校区内外に需要の輪が広がっています。

また、昨年から阪神間に販路を拡大し、消費者にも好評で本年は地元原材料の調達のため生産農家の組織化が課題です。

高齢化社会が進む中で、小規模集落では支え合う福祉力が課題です。であいの里を拠点にふ

れあいサロンの合同開催により、区の垣根を越えて集う交流の輪が広がろうとしています。

情報発信では、「広報であいの里」の定期発行のほか、出合校区協議会公式ホームページ及びフェイスブックの開設により、インターネットを通じて都会に

でた子供さんや孫の皆さんにふるさととの出来事、風景が見られるようになり、都会との交流の窓口が広がりました。

「未来につながるであいの里」は、本年の目標であり挑戦であります。昨年の校区民全世帯アンケートでは、最近不安に感じるところも最も関心の高いこととして、1. 異常気象 2. 健康 3. 高齢化 4. 老後の生活 5. 地域の衰退 6. 風水害の順でした。

これらの不安を解消することは個人、区、校区、市、県、国など其々の機関が相互に連携し、課題の克服に更に努めなければなりません。

幸い出合校区には、様々な固有の資源が今日まで引き継がれています。県下最高峰の氷ノ山、東鉢伏高原（スキー場、棚田）、

轟高原（野菜産地）中山間の農林基盤、清流出合川、八木川、国指定文化財（葛畑農村歌舞伎舞台）等。

生活インフラでは、北近畿自動車道、国、県、市道、出合診療所、出合幼児センター、スノーシューション、バスターミナル、兵庫県河川水位モニター、旧出合小学校活用など地域で未来に守り継がねばならない大切な社会資本や生活基盤です。

これからの地域社会（出合校区）に必要なもの、また力を合わせることで解決できることは何か、支え合う地域力で元氣と活力が持続する社会や暮らしの確立に向け、地域住民の皆さんと共に考え行動し、果実の種が播かれ育つことを念じるものです。

本年も皆様のご健勝ご多幸ご活躍を祈念申し上げますと共に、ご意見やご指導ご協力を戴きますよう、よろしくお願いたします。

出合校区協議会
会長 栃本 茂良

予告

春の催しに参加を!! 詳細は次号でお知らせします。

【健康福祉部会】 健康づくりウォーク

(と き) 3月29日(日)
行先等は検討中です。
次号で案内し募集します。
お楽しみに!!
(昨年は姫路城内と周辺等を散策しました。)

【女性部会】 であいの里ひなまつり

(期間) 3月3日(火)~4月3日(金)
(時間) 午前9時30分~16時
(ところ) であいの里
今年も女性部会と手芸サークルが工夫をこらして、葛畑土人形、ひな壇がざり、吊るし飾り等を展示します。

【文化部会】 ミニコンサート

(と き) 3月22日(日)
午前10時~
(ところ) であいの里
1970年代から現在までの皆さんがよく知っているフォークをいっしょに歌いましょう。

主な事業計画等

- 1月16日(金) 特産品開発研究会
- 1月21日(水) 市自治協議会研修会 八鹿
- 1月29日(木) 13:30 女性部会
- 1月 随時 各部会開催

主な活動経過等

- 12月10日(水) 20:00 文化部会
- 12月16日(火) 13:00 手芸サークル
- 12月17日(水) 第二学院土人形講座 HP指導 ピーナツ片山氏
- 12月18日(木) 出合老人会 受入れ
- 12月19日(金) 特産品企画開発販売委員会、商品開発研究会
- 12月24日(水) 特産品開発にかかる打合 11:00 ピーナツ片山氏
- 12月22,23日(月、火) 25,26日(木、金) 正月用餅搗、赤飯受渡し 22日、朝日新聞取材 (23日餅つき新聞掲載)
- 1月5日(月) 仕事始め 新年賀詞交換会 八鹿公民館 会長出席
- 1月6日(火) 3階水道漏水修理
- 1月9日(金) 特産品販売促進にかかる打合 10:00 ピーナツ片山氏他
- 健康福祉部会長、会長と事業打合 9:00
- 加工仕事始 大福、餅つき 随時 加工品出荷 但馬蔵、元町マルシェ

心を寄せあい稲藁編む 養父市無形民俗文化財 安井の大草履づくりぞめ

安井区 正月行事紹介

1月3日、安井区の公会堂で恒例の正月行事「大草履づくり」が行われました。今年、年末から年始にかけて大雪のため準備が大変でした。早朝8時から、各戸から持ち込まれた稲藁を木槌でたたいてほぐし、大草履の基になる太縄を編み、順次経験豊富な古老の指導により、伝統の大草履づくりを20人の氏子の皆さんで作業分担し、約3時間かけつくりあげました。



完成した草履は6日まで神社に奉納します

大草履づくりは、すべて材料を稲藁でつくるので良質な藁の確保が年々難しくなる現状です。また、伝統行事を引き継ぐ後継者づくりも今後の課題です。

江戸時代から続いたこの行事は、戦時中一時途絶えた時期もありましたが、その後復活し、区民の大切な神事として絆をつよめる交流の場となっています。

出来上がった大草履の大きさは縦長1.2m横幅1.3m・重さ約30kgで少し大き目。青竹につるされた大草履はその日に志賀峰神社に奉納され、地域の安全と平穏祈願が行われました。

6日夜の「どんど」焼き後、村境に移動して祀られ一年間村を見守ります。

正月用もちつき赤飯づくり (すずめの学校)

年末に、約30戸から66戸の注文をうけて、12月22日、25日、26日の3日間、もちつき、赤飯づくりをしました。機械導入後、今年で3年目となり手際もよくなりました。トチもち、アワもち、ヨモギもち、また、それぞれの家庭に応じたサイズの鏡もちも まずまず上手く仕上がりました。節分や節句のもち、お祝い事や仏事には各種あんもち、さんしょ大福をどうぞご利用ください!!



楽しく加工作業に精を出しています。ご注文お待ちしております。